

(大谷小学校)

カムデンの小学生たちがお小遣いを持ち寄って集めた義援金(約2万7千円)は、今年カムデンに派遣された柏生が預かってきた絵画数十点と共に、大谷小学校の生徒代表に渡しました。幸い、大谷小学校の校舎は被害が少なく済みましたが、被災した幼稚園が同居している他、校庭一杯に仮設住宅が建てられていました。



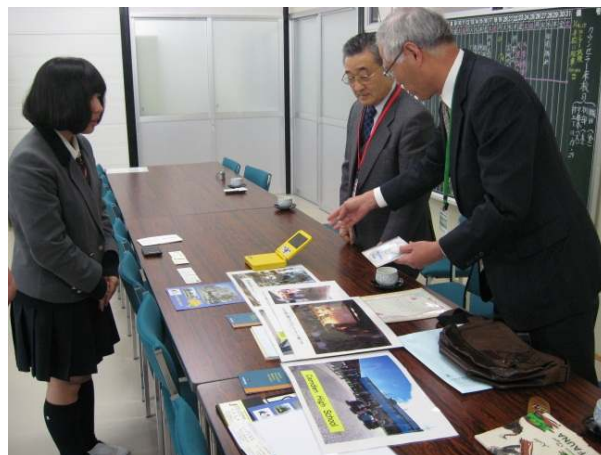
(気仙沼向洋高校)

2009年に派遣生の一人として来柏した Sally Wilson さんの「被災地の高校生を支援したい」との熱い思いから5月に始まった募金活動はカムデンの3つの高校に広がり、チャリティーコンサートを催したりしながら11月まで続き、豪ドルで3,847.20(約30万円)が集まりました。この義援金は気仙沼向洋高校の生徒会に寄贈しました。津波で校舎は全壊し部活の用具も全て流されており、義援金は部活の費用に充てるそうです。

気仙沼向洋高校の生徒たちは他の3つの高校に間借りしながら分かれて授業を続けて来ましたが、11月に、気仙沼高校の校庭に建てられたプレハブの校舎で全生徒と一緒に授業を受けられるようになりました。



元気にサッカーの練習もしていたし、私たちに「こんにちは」と声かけもあり学生たちは明るく健気に頑張っていました。また、遠い国からの支援に対し、純粋な気持ちからの「ありがとう」の言葉があちこちで聞かれ、永年の青少年交換派遣等を通して築かれた国際交流の成果を実感しました。



(キャンプデンを写真で紹介)

市内の至る所に瓦礫の山や廃屋が見られ復興には程遠い状況です。気仙沼市ばかりではなく大震災の被災地では不自由な生活が続いております。これからも折に触れ支援を続けることが必要と思いました。

